

認知症ケアを考える

～より良い日常生活支援とは～

【講義・演習】

▽日時／2025年5月12日(月) 10:00～16:00(受付9:30～)

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／ 24名【先着順 定員に達し次第締切】

▽受講資格／市内福祉施設・事業所にお勤めの方で、認知症ケアに従事されている方

▽受講料／無料

▽持参するもの／筆記用具

▽申し込み方法／別紙『研修受講申込書』に必要事項を記入し、FAX またはメールをお送りください。

HP からのお申込みも可能です。

研修の方向性

認知症の方にケアを提供する専門職の方に必要な視点を涵養する研修となります。

本研修では様々な事例を通して、その方の有している能力の把握と認知症の方を画一的に考えない視点を確認していただきます。

支援に関わる者たちが、認知症の方に向き合う時に『どうせ認知症だから・・・』『きっと何もわからないし、できない・・・』といった先入観や自身の価値観の影響を強く受けしてしまうと、支援の方向性が歪みかねません。認知症の方の捉えている「現実」と、支援をする側が捉えている「現実」のズレを認識し、暮らしの中で支援を組み立てることで、「人としての当たり前」の暮らしを創造する土台が整います。

今回の研修では、前提となる知識の確認と、ズレが生じる要因と、そこへの対応策例を詳説いたします。

プログラム(予定)

- 1 生活者の主体は誰か
- 2 手助けの距離を測るということ
- 3 その人を知るための情報収集のあり方
- 4 起因を探るということ
- 5 あたり前の感覚を失わない

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センターHP <https://chiba-shakyo.jp/learning/seminar/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村

メール yamamura-t@chiba-shakyo.jp